



## 茅野市民館の特徴

劇場・音楽ホール、美術館、図書室、多様な用途のある施設やスペース、レストランなどを合わせ持つ文化複合施設 (Cultural Complex) です。演劇・ダンス・舞台表現、音楽・音、映像・映画、美術、文芸・言語——といった多彩なジャンルを掛け合わせ、新たな表現をつくりだすことが可能です。JR茅野駅東口に直結した立地で、通行や待ち合わせにも使われており、さまざまな人が行き交い、集う、コミュニティ機能もあります。

### 「茅野市民館」はどんなところ？

さまざまな表現やアートと出会い、人と人がつながる、驚きや発見でいっぱいの「市民の館」です。構想段階から市民が直接参加し、平成17(2005)年10月にオープン。みんなで力を合わせる「市民協働」を実践しています。

### 「主催事業」とは？

茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造が主体となって計画・制作・実施する事業です。主催事業の実施を通して、地域の皆さんが、さまざまな芸術表現に触れる未知の経験や、市民参加・主導の創造体験の機会をつくることを目指しています。

### 市民から提案を募集するのはなぜ？

地域に暮らす一人ひとりの文化への思いや、さまざまな表現への興味を、皆さんとともに知恵や工夫を出し合い、主催事業として実現する「文化創造」のプロセスを大切にしているからです。「市民協働」の実践のひとつです。

お気軽にお問合せください

ご提案をお待ちしています！



- 募集受付期間 平成26(2014)年2月1日(土)～3月15日(土) ※郵送の場合、当日消印有効
- 実施対象期間 平成27(2015)年4月1日(水)～平成28(2016)年3月31日(木)
- 募集内容 鑑賞・普及育成・創造・交流などの分野における、以下の事業アイデア
  - ・地域住民の交流や地域の文化振興につながる事業アイデア
  - ・公益性や文化的創造意欲、独創性が認められる事業アイデア
- 申込方法 提案書(茅野市民館ホームページ <http://www.chinoshiminkan.jp/> または茅野市民館事務室にて入手できます)に必要事項を記入し、茅野市民館事務室に直接お持ちいただくか、メール・Fax・郵送にてお送りください。
- お問合せ・ご提案先 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号  
Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223 E-mail ask@chinoshiminkan.jp  
開館時間：午前9時～午後10時 休館日：毎週火曜日(火曜日が祝日の場合その直後の休日でない日)

もっとつながる、  
もっとひろがる。

平成27年度

# 茅野市民館主催事業アイデア提案の募集

事業の

創造

市民がつくる、新たにつくる

事業の



鑑賞

未知の表現、本物の芸術に出会う

事業の



たね

交流

出会い、集い、関わり合う

事業の



普及育成

文化体験を通して心を育む

事業の



募集します！

## 茅野市民館は「市民一人ひとりが主人公になれる場」

平成27(2015)年10月に10周年を迎えます

茅野市民館／茅野市美術館で、平成27年度に実施する主催事業のアイデア提案カルチャー culture (文化) の語源は「耕す」。あなたの手にある文化のたねで、「心を耕す」地域文化の花を咲かせてみませんか。

事業の



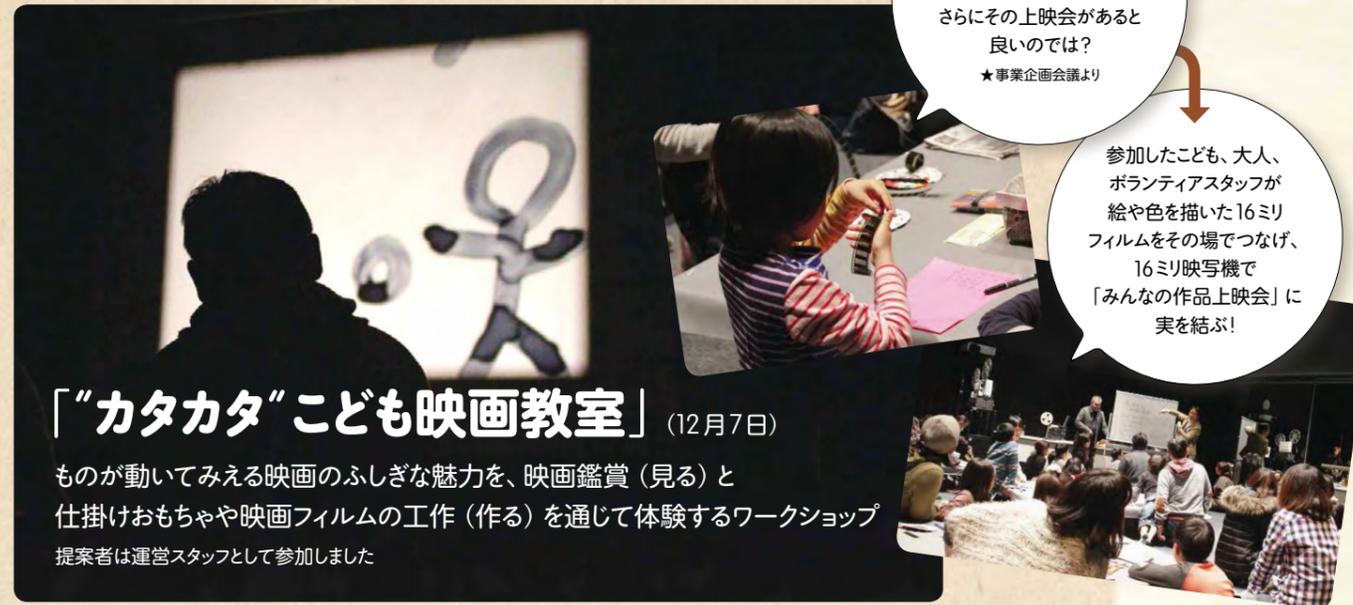
- 募集受付期間 平成26(2014)年2月1日(土)～3月15日(土)
- お問合せ・ご提案先 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造  
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号  
Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223 E-mail ask@chinoshiminkan.jp  
開館時間：午前9時～午後10時 休館日：毎週火曜日(火曜日が祝日の場合その直後の休日でない日)

The place where every community member takes a leading role. 地域社会のあらゆる人たち(=市民一人ひとり)が、主要な役割を担う(=主人公になれる)場所

### 茅野市民館 5つの基本理念

- ・市民一人ひとりが主人公になれる場
- ・幅広い人々の交流の場
- ・芸術から産業にいたるまでの地域文化の創造と情報の受発信
- ・茅野市の顔としての環境づくり
- ・中心市街地のまちづくり

# 市民提案をもとにした事業 (平成25年度)



**「カタカタ」こども映画教室** (12月7日)

ものが動いて見える映画のふしぎな魅力を、映画鑑賞(見る)と仕掛けおもちゃや映画フィルムの工作(作る)を通じて体験するワークショップ  
提案者は運営スタッフとして参加しました

映像系ワークショップはこれまでなかった。こどもたちが創造する場を設け、さらにその上映会があると良いのでは?  
★事業企画会議より

参加したこども、大人、ボランティアスタッフが絵や色を描いた16ミリフィルムをその場でつなげ、16ミリ映写機で「みんなの作品上映会」に実を結ぶ!



**「茅野カブかん囃子～郷土の唄めぐり～」** (8月4日)

地元出演者による郷土の唄・芸能と、地域の名所や風土を歌詞にした日本舞踊「茅野カブかん囃子」(振付:市川染五郎)を披露  
提案者は地元出演者との交渉や舞台設営に参加しました



**世界の音楽「アンデスの響き」** (11月30日)

南米アンデス地方の民族音楽フォルクローレのコンサート  
学校での出張コンサートや関連企画として写真展も開催  
提案者は企画内容の検討、取材対応、チケット販売に協力しました



# 提案 → 事業企画会議 → 主催事業決定!

**市民提案者のプレゼンテーション!**  
提案者が集まり、企画に込めた思いを伝えるプレゼンテーションを実施。さまざまなアイデアを知り、交流する機会になりました。(5月)

提案は、4月から始まる「事業企画会議」に提出し、6回ほどの話し合いで意義・内容・予算を検討、具体的な事業案に絞り込みます。その結果をもとに主催事業実施計画案を作成し、茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造の取締役会で承認・決定されます。

**事業企画会議から**  
平成25年度3回目の事業企画会議。各提案をカードにして、「ジャンル・潮流」を横軸、「対象の広さ・深さ」を縦軸に並べて事業バランスをみましました。(6月)

**事業企画会議とは**  
市民・指定管理者・コアアドバイザー・オブザーバー\*で構成  
\*株式会社地域文化創造取締役やNPO法人サポートC事務局など




## 事業の育て方

### たねをまき、育て、花が咲き、実を結ぶ、市民による手づくりステージ! 「ステージづくり応援部」から「ステージづくり部」へ

舞台創造の基礎を知り(主催者)に挑戦!  
★市民館担当者より

舞台(ステージ)にかかわる基礎知識を学ぶ講座とともに、平成24年度は主催者に挑戦する「ステージづくり応援部」を実施。平成25年度は「ステージづくり部」に発展し、参加者が演劇を創作、上演しました。

構成から上演までみんなで1つの創作物をつくらせよう!  
★市民館担当者より

#### 平成24年度 茅野市民館をサポートしませんか? ステージづくり応援部「やってみよう!ステージ」

#### 平成25年度 ステージづくり部 活動中! ステージづくり部「やってみよう編」

● **たねをまく** (アイデア構想・企画立案) → ● **育てる** (準備・制作) → ● **花が咲く** (事業の実施) → ● **実を結ぶ** (つながりとひろがり)(次の「たね」まき)

**たねをまく** 8月、28人の市民が「部員」としてひとりひとつ作成した企画提案書から、地元出身アーティストによるダンスとコントの融合した公演企画(撫肩 GUYDANCE)を選びました。

**育てる** 1月の公演日まで20回以上ミーティングを重ねました。  
・アーティストとスタッフをつなぎます(涉外)  
・チケットの売れ行きに一喜一憂(チケット)  
・舞台設営や手作り展示も(裏方)  
・手書き文字に思いを込めたプレスリリース(広報)など...

**花が咲く** みんなの熱い思いと行動力でチケット完売! 手作りの工夫が光る楽しい展示に、奇想天外な舞台設営、パワフルでエネルギッシュな舞台は大成功!

**実を結ぶ** 8月末から10回以上のワークショップを通して、市民とスタッフ21人が出演する創作公演「ヨルノオハナシ」を上演しました。

本当に自分たちでできるのかな...?  
★参加市民より

あーだこーだ語り合うかけがえない時間が舞台のもと!  
★参加市民より

いろいろな人の力が合わさって、できちゃった!  
★参加市民より

裏方に興味があるけど、講座で「出演してみたいよ」と言われて。経験してみるとクセになりそう...  
★参加市民より

